

令和5年度 山形県病院事業会計決算の概要

【経常収支は2億8,600万円の赤字】

令和6年7月
病院事業局

1 病院事業合計

(1) 入院及び外来の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	21,959	852	4.0%
入院患者延数 b	345,364人	7,487人	2.2%
入院診療単価 a/b	63,583円	1,113円	1.8%
平均在院日数	14.6日	▲0.6日	▲3.9%
病床利用率	77.3%	4.9p	—
外来収益 c	9,595	347	3.8%
外来患者延数 d	508,126人	▲3,163人	▲0.6%
外来診療単価 c/d	18,883円	797円	4.4%

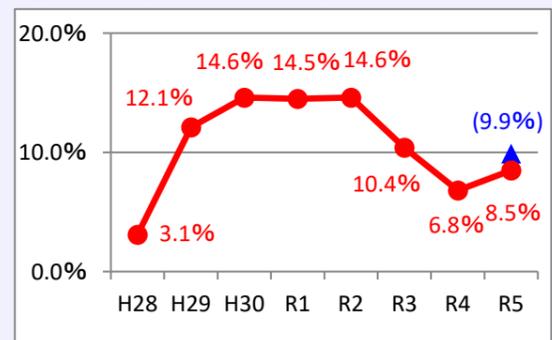
(2) 損益の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
総収益 A	42,586	▲201	▲0.5%
経常収益 B	42,045	▲681	▲1.6%
医療収益 C	32,291	1,241	4.0%
医療外収益 (うち新型コロナ補助金)	9,754 (972)	▲1,922 (▲3,365)	▲16.5% (▲77.6%)
特別利益	541	480	786.9%
総費用 D	43,711	2,768	6.8%
経常費用 E	42,331	1,632	4.0%
医療費用 F	40,264	1,406	3.6%
医療外費用	2,067	226	12.3%
特別損失	1,380	1,136	465.6%
医療収支 C-F	▲7,973	▲165	—
総収支 A-D	▲1,125	▲2,969	—
経常収支 B-E	▲286	▲2,313	—

(参考) 資金不足比率の推移

病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。

令和5年度の地方財政法による資金不足比率は、計画値9.9%に対し8.5%となった。



2 中央病院 【経常収支は7億1,300万円の黒字】

(1) 入院及び外来の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	14,449	1,000	7.4%
入院患者延数 b	159,187人	7,583人	5.0%
入院診療単価 a/b	90,769円	2,059円	2.3%
平均在院日数	10.4日	▲0.2日	▲1.9%
病床利用率	76.2%	6.3p	—
外来収益 c	5,848	184	3.2%
外来患者延数 d	241,137人	▲3,515人	▲1.4%
外来診療単価 c/d	24,253円	1,103円	4.8%

(3) 令和5年度の主な設備投資

- 空調設備更新 (R2~R5債務負担) (161)
- 浸水対策工事 (106)
- リモートステーション盤更新工事 (104)
- 医療機器等の整備 (792)
 - ・全身用コンピュータ断層撮影装置 (CT) (220)
 - ・磁気共鳴断層撮影装置 (MRI) (205)
 - ・内視鏡マネジメントシステム (30)
 - ・脳動脈瘤手術用セット (18) 等

(4) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を確保 (最大で49床) (※R5. 5. 8~確保病床数を縮小)
- 新型コロナ感染症外来の運営 (~R5. 5. 7) 等

(2) 経常収支の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
医療収益 A	20,756	1,211	6.2%
医療外収益 B	4,957	▲1,454	▲22.7%
(うち新型コロナ補助金)	(658)	(▲2,049)	(▲75.7%)
医療費用 C	23,704	880	3.9%
医療外費用 D	1,296	44	3.5%
医療収支 A-C	▲2,948	331	—
経常収支(A+B)-(C+D)	713	▲1,167	▲62.1%

《主な増減要因》

- 医療収益 [+1,211]
 - ・診療単価の増等による入院及び外来収益の増 [入院：+1,000、外来：+184]
- 医療外収益 [▲1,454]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲2,049]
 - ※うち病床確保料 [▲1,947]
- 医療費用 [+880]
 - ・高額医薬品の増等による薬品費の増 [+184]
 - ・手術件数の増や入院患者の増による診療材料費の増 [+281]

4 河北病院 【経常収支は4億3,300万円の赤字】

(1) 入院及び外来の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	1,188	▲6	▲0.5%
入院患者延数 b	26,743人	173人	0.7%
入院診療単価 a/b	44,435円	▲493円	▲1.1%
平均在院日数	15.2日	▲1.0日	▲6.2%
病床利用率	66.4%	10.4p	—
外来収益 c	863	45	5.5%
外来患者延数 d	67,260人	694人	1.0%
外来診療単価 c/d	12,824円	537円	4.4%

(3) 令和5年度の主な設備投資

- 医療機器等の整備 (101)
 - ・低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌装置 (17)
 - ・X線骨密度測定装置 (13) 等

(4) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を確保 (最大8床) (※R5. 5. 8~確保病床数を縮小)
- 山形県PCR自主検査センターの運営及び新型コロナ感染症外来の運営 (~R5. 5. 7) 等

(2) 経常収支の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
医療収益 A	2,092	42	2.0%
医療外収益 B	1,384	▲302	▲17.9%
(うち新型コロナ補助金)	(97)	(▲392)	(▲80.2%)
医療費用 C	3,778	25	0.7%
医療外費用 D	131	4	3.1%
医療収支 A-C	▲1,686	17	—
経常収支(A+B)-(C+D)	▲433	▲289	—

《主な増減要因》

- 医療収益 [+42]
 - ・患者延数の増及び診療単価の増による外来収益の増 [+45]
- 医療外収益 [▲302]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲392]
 - ※うち病床確保料 [▲322]
 - うちPCR自主検査センター分 [▲42]
- 医療費用 [+25]
 - ・高額医薬品の増等による薬品費の増 [+21]

3 新庄病院 【経常収支は3,000万円の赤字】

(1) 入院及び外来の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	4,655	▲171	▲3.5%
入院患者延数 b	91,195人	▲1,152人	▲1.2%
入院診療単価 a/b	51,046円	▲1,219円	▲2.3%
平均在院日数	14.2日	▲0.8日	▲5.3%
病床利用率	76.4%	2.2p	—
外来収益 c	2,592	109	4.4%
外来患者延数 d	165,948人	220人	0.1%
外来診療単価 c/d	15,622円	641円	4.3%

(3) 令和5年度の主な設備投資

- 改築整備事業 (1,358)
 - ・外構工事 (401)
 - ・総合医療情報システム移設 (334)
 - ・医療機器及び什器等移設 (224) 等
- 医療機器等の整備 (2,205)
 - ・全身用コンピュータ断層撮影装置 (CT) (153)
 - ・ガンマカメラ (89)
 - ・全身用X線透視装置 (43) 等

(4) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を確保 (最大で18床) (※R5. 5. 8~確保病床数を縮小)
- 新型コロナ感染症外来の運営 (~R5. 5. 7) 等

(2) 経常収支の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
医療収益 A	7,470	▲50	▲0.7%
医療外収益 B	2,378	▲40	▲1.7%
(うち新型コロナ補助金)	(201)	(▲896)	(▲81.7%)
医療費用 C	9,363	467	5.2%
医療外費用 D	515	176	51.9%
医療収支 A-C	▲1,893	▲517	—
経常収支(A+B)-(C+D)	▲30	▲733	—

《主な増減要因》

- 医療収益 [▲50]
 - ・新病院移転に伴う新規入院受入制限等による入院収益の減 [▲171]
 - ・患者延数の増及び診療単価の増による外来収益の増 [+109]
- 医療外収益 [▲40]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲896]
 - ※うち病床確保料 [▲834]
 - ・一般会計繰入金の増 [+910]
- 医療費用 [+467]
 - ・高額医薬品の増等による薬品費の増 [+198]
 - ・新病院移転に伴う消耗備品費の増 [+79]
 - ・電気料高騰等による光熱水費の増 [+77]

5 こころの医療センター 【経常収支は2億1,700万円の赤字】

(1) 入院及び外来の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
入院収益 a	1,667	29	1.8%
入院患者延数 b	68,239人	883人	1.3%
入院診療単価 a/b	24,421円	103円	0.4%
平均在院日数	136.9日	1.1日	0.8%
病床利用率	87.5%	0.9p	—
外来収益 c	292	9	3.2%
外来患者延数 d	33,781人	▲562人	▲1.6%
外来診療単価 c/d	8,642円	405円	4.9%

(3) 令和5年度の主な設備投資

- 医療機器等の整備 (8)
 - ・電動ベッド5台 (2) 等

(4) 新型コロナ対応のための主な取組

- 感染状況に応じて電話による外来診療を推奨

(2) 経常収支の概況

	令和5年度		
	増減	増減率	
医療収益 A	1,973	38	2.0%
医療外収益 B	1,013	▲108	▲9.6%
(うち新型コロナ補助金)	(16)	(▲27)	(▲62.8%)
医療費用 C	3,087	▲5	▲0.2%
医療外費用 D	116	▲1	▲0.9%
医療収支 A-C	▲1,114	43	—
経常収支(A+B)-(C+D)	▲217	▲64	—

《主な増減要因》

- 医療収益 [+38]
 - ・診療単価の増等による入院及び外来収益の増 [入院：+29、外来：+9]
- 医療外収益 [▲108]
 - ・一般会計繰入金の減 [▲78]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲27]
- 医療費用 [▲5]
 - ・PCR検査の減等による手数料の減 [▲6]

※ 表中の「増減」及び「増減率」は対前年度。また、「医療収支」「経常収支」及び「総収支」の「増減率」は当年度及び前年度のいずれもが正数の時のみ記載。